

## 今月のおすすめ図書

### ◆一般図書

#### 戦地の図書館



モリー・グブティル・マニング／著  
東京創元社

戦争における本の意味は。ナチスによる焚書に対抗して始まった、アメリカ軍の戦勝図書運動。本が兵士に与える影響を追った一冊。

#### むかし僕が死んだ家



東野 圭吾／著 講談社

7年前に別れた恋人・沙也加の記憶を取り戻すため、私は彼女と「幻の家」を訪れた。彼女の真実とは？『透明な螺旋』を読んだ方にも是非、読んでほしい作品です。

### ♥児童図書

#### ねこいる！



たなか ひかる／著 ポプラ社

ねこがバーン！と思ってもよらぬところから出てくる、それだけのユーモラス絵本。ねこの表情や出方など、思わずふふっと笑ってしまうこと請け合いです。

#### ぞうくんのあめふりさんぽ



なかの ひろたか／さく・え 福音館書店

雨の中、ぞうくんは散歩に出かけます。かばくんを誘うと「池の中ならいいよ」と言われ…。ぞうくん達はどうやって池の中を散歩するのでしょうか？

## ぶらり らいぶらり

米子市立図書館からのお知らせ

米子市立図書館 (☎ 22-2612 FAX 22-2637)

開館時間 平日：午前9時～午後7時

土・日・祝日：午前10時～午後6時

今月の休館日 毎週月曜日、30日(月末資料整理)

### 児童ハートフルコーナー

#### 「りんごの棚」を設置しました！

米子市立図書館では、児童コーナーに「りんごの棚」を設置しました。本を読むことが難しい方へ向けた、だれもが読書を楽しめるように作られたコーナーです。この棚には、布の絵本、点字図書、写真や絵などで分かりやすく書かれた本があります。

「りんごの棚」は、スウェーデンの公共図書館から始まりました。特別な配慮を必要とする子どもたちを支援するために作られた、おもちゃのりんごが名前の由来となっています。

図書館にはさまざまなかたちの本があります。自分に合った読み方のできる本を見つけてみませんか。



りんごのシールが目印です！



画像提供：Barnens bibliotek

## 今月の催し (☆印は要事前予約)

### 「おはなし会」

▽木曜おはなし会(ほしのぎんか・火曜の会、図書館職員) (☆)

毎週木曜日 午前10時40分

▽おはなしかご(米子おはなしかご)

(☆) 17日(土) 午前10時30分

▽夕方おはなし会(図書館職員) (☆)

13日(火) 午後4時

▽聞いてみよう 子どもに語るストーリーテリング(米子おはなしかご)

10日(土) 午後2時(大人対象) (☆)

### 「各種講座」

▽つつじ読書会『しろがねの葉』千早茜／著(新潮社)(初めてのの方☆)

3日(土) 午後2時

▽楽しく漢文に学ぶ会(初めてのの方☆)

4日(日) 午後1時30分

▽いきいき長寿音読教室(☆)

13日(火) 午後3時、14日(水) 午前10時30分(1日(木)予約受付開始)

※7月の予約は7月1日(土)受付開始

▽鳥取大学サイエンスアカデミー

10日(土)、24日(土) 午前10時30分

▽古文書研究会「多比能真久佐」ほか

24日(土) 午後1時30分

▽「2階ギャラリー」

水道週間に伴う水道事業の理解と関

心を深める啓発活動パネル展

1日(木)～8日(木)

▽男女共同参画週間パネル展

14日(水)～28日(水)

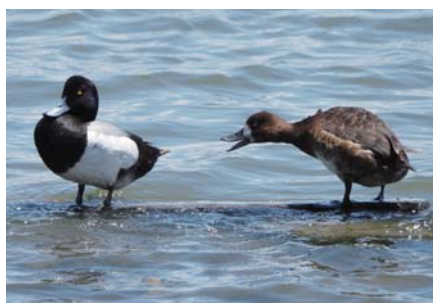


米子水鳥公園の指導員（レンジャー）が  
日々の活動をご紹介します！

## 米子水鳥公園 レンジャー通信

文／米子水鳥公園統括指導員 桐原 佳介

オスを威嚇するメス（右）と  
少し腰が引けているオス



オスに体当たりする  
メス



2022年6月9日、ネイチャーセンター目の前の小島に、スズガモのオスとメスが1羽ずついました。面白いのかな、と思って観察していましたが、ちよつと様子が変でした。

オスとメスは少し離れて立っていました。メスがしきりにオスを威嚇していたのです。オスは特に何もしていませんのに一方的に威嚇されて、戸惑っているようでした。

オスはずっと我慢していたので、メスはそのうち飽きて威嚇をやめるかと思いきや、何とメスはオスに体当たりして、オス

### スズガモの雌雄の力関係

を池に突き落とすとしてしまいました。突き落とされたオスはもちろん、巻き添えになった他の鳥も驚いていました。

しかし、オスは小島で過ごすことをあきらめず、メスから離れた場所に再び上陸しました。その様子を目で追っていたメスは、先ほどよりも離れていたせいか、それ以上攻撃することはありませんでした。

カモ類は、番になる時に複数のオスがメスに求愛し、その中からメスがオスを選ぶので、メスの方が立場は上なのかもしれません。

## 美術館通信

### 第62回米子市美術展覧会（市展）

「市展（してん）」は、1947年から始まり、今年で62回目を迎えます。近年は、高校生からベテランまで全部門で約300点の作品が会場の中でひしめきあっています。今年度からデザイン部門を新設！新しい才能に出会える機会です。

- 会期 6月9日（金）～17日（土）
- 部門 洋画（油彩画、水彩画、版画）・日本画・書道・写真・工芸・彫刻・デザイン
- 搬入受付 6月4日（日）午前10時～午後4時
- 搬入場所 米子市美術館
- 出品料 1部門1点につき1,000円（高校生は無料）
- 出品できる方

高校生以上で市内にお住まいか、通勤通学している（いた）方  
※その他作品の規格など詳細は開催要項をご確認ください。

美術館ホームページからもダウンロードできます。

☎ 米子市美術館（☎34-2424、FAX33-0679）

